

食安輸発第0421002号

平成17年4月21日

各検疫所長 殿

医薬食品局食品安全部監視安全課  
輸入食品安全対策室長  
(公印省略)

安全性未審査の組換え DNA 技術応用食品に係る輸入米の検査について

輸入米の検査については、平成11年4月21日付け衛食第71号及び衛化第18号により輸入時の安全確保を行っているところですが、今般、中国において未承認の遺伝子組換え米が栽培、販売されていたとの情報を入手しました。

については、中国産米については、農薬等の検査とあわせて、下記により安全性未審査の組換え DNA 技術応用食品に係る検査を実施することとしたので対応方よろしくをお願いします。

記

1 検査対象

平成11年4月21日付け衛食第71号及び衛化第18号により農薬等の検査を行う中国産米

2 検体採取方法及び試験実施機関

検体採取方法は、平成11年4月21日付け衛食第71号及び衛化第18号別添「輸入米の検査実施要領」の別表2に準じることとし、検体採取量は農薬等検査分とあわせて2.5kgとする。

また、当該安全性未審査の組換え DNA 技術応用食品に係る試験実施機関は、平成17年3月31日付け食安検発第0331003号の別紙2の「遺伝子組換え」の欄によることとし、当該検査を実施する機関へは、農薬等検査分とあわせて 1.5kg を送付する。

### 3 検査項目

遺伝子組換えにより新たに発現される Bt タンパク質のうち、Cry1Ac、Cry1Ab、Cry1F、Cry9c、Cry3Bb(Cry3Bb1)を対象とする。

### 4 検査方法

ラテラルフロー法試験紙タイプの市販の Test Kit (Strategic Diagnostics 社 (SDI) 製の Seed バルクテスト Bt1Ac (Cry1Ac 用)、Trait コーンバルクテスト Bt1 (Cry1Ab 用)、Trait コーンバルクテスト Bt1F (Cry1F 用)、Trait コーンバルクテスト CryBt9 (Cry9c 用)及び Trait コーンバルクテスト Cry3Bb (Cry3Bb(Cry3Bb1)用)) を用いる方法で行う。

実験操作は、基本的に Test Kit の説明書の方法によることとし、試料については、検体採取した米 1.5kg を粉砕したものを、各 Test Kit で必要な試料量 (Cry1Ac 用 Test Kit については 9g、Cry1F 用 Test Kit については 25g、その他 Test Kit については 200g を共通に用いる。) を無作為に採取したものをを用いることとする。

なお、Cry1Ac 用 Test Kit については、上澄み液に Bt1Ac テストストリプトを立てる時間を 20 分間とすること。

### 5 検査頻度

上記 1 に該当する中国産米の輸入届出を受理した場合は、その都度、企画情報課検疫所業務管理室に当該検査を実施するか否かを照会すること。

### 6 備考

検査の結果、陽性となった場合は、貨物を保留し企画情報課検疫所業務管理室を通じて当室まで連絡すること。